



令和2年度 学校経営方針

板橋区立志村第六小学校

校長 堀内 祐子

【蓮根地区学びのエリア 目指す児童・生徒像】

知…主体的に課題に取り組み、自分の考えを分かりやすく表現する力を身に付けた児童・生徒

徳…認め、励まし、共に成長する児童・生徒

体…自らの心身の健康に向き合い、進んで体を動かそうとする児童・生徒

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、健康で知性に富み、人間性豊かに21世紀を担う子どもを育成する。

○進んで考える子・・・主体的に課題に取り組み、課題解決し、自分の考えを分かりやすく表現できる子

○ねばり強くやりぬく子・・・友達と認め励まし合いながら、最後まであきらめずチャレンジする子

○なかよく元気な子・・・オリパラ精神を基調に自らの心身の健康に関心を持ち、進んで運動に取り組む子

2 学校経営の基本的な考え方

学力向上とそれを支える学級経営の安定が学校経営の基盤と考えます。そのためには、教師はまず、子ども一人一人を理解してあげてください。そして、子どもたちには自律と自立を求めたいと思います。

教師の役割は、子どもが正しく判断できるよう導くことにあります。しかし、それは教師の価値観や考え方の押しつけであってはなりません。子どもたちの言い分をしっかりと時間をかけて聞いてあげてほしいのです。人によって正義は異なります。子どもたちは教師と異なる正義をもっています。しかし、発達段階の子どもたちは独りよがりの正義であることが多いです。だからこそ、教師が子どもたちの考える正義に理解を示しながらも、「他のみんなにとってどうなのか」「迷惑をかけていないのか」を振り返りさせることが必要です。もちろん、「だめなことはだめです。」しかし、そこでとどまるのではなく、「なぜだめなのか」「どうすればよかったのか」をしっかりと考えさせることが、判断の基準を他律ではなく自律に求める子どもの育成、「だれかのせいにしない」「なにかのせいにしない」子どもの育成につながると考えます。

また、「教諭」という字は「教え」「諭す」と書きます。声を荒げる威圧的な指導や体罰・暴言は教師の指導ではありません。そのような指導は教師自身の指導力のなさを露呈するものであると肝に銘じて職務を遂行してください。

本校は昨年度創立70周年を迎えました。この長い歴史の中で培われてきた本校の良さを引き継ぐとともに、教職員一同力を合わせて新たな時代の幕を開けていきたいと思ひます。

そのためにも、一人一人の子どもたちが、自分たちの成長や変容を実感できる教育環境の整備、授業の改善、児童理解に努めていってください。

3 学校経営目標

(1) 目指す学校像

「共育・協働により子どもが成長を実感できる学校」

- ・児童が将来への夢や希望をもって成長していこうとする意欲のもてる学校
- ・教職員が一人一人の持ち味を生かし、組織的に協働し、高め合い、子どもの成長に寄り添い、支援する学校
- ・保護者や地域に開かれ、共に歩む学校

(2) 目指す児童・生徒像

知…主体的に課題に取り組み、自分の考えを分かりやすく表現する力を身に付けた児童・生徒

徳…認め、励まし、共に成長する児童・生徒

体…自らの心身の健康に向き合い、進んで体を動かそうとする児童・生徒

(3) 目指す学力

子どもが自ら獲得した知識を基に、思考・判断・表現できる力（読み解く力の育成を通して）

(4) 目指す教職員像（求める教師像）

- ・教育公務員としての自覚、社会性を身に付けている教職員
- ・自らの役割を自覚し責任を果たし、専門的な知識・技能に富み、常に研修意欲をもつ教職員
- ・常に指導力向上に努め、授業の改善・充実に努める教職員
- ・児童の心に寄り添い、受容と共感の姿勢で粘り強く指導を行い、児童が自ら育つための支援に努める教職員
- ・あらゆる人権侵害の行為を許さず、いじめ・体罰などがない学校づくりを推進する教職員

3 学校経営目標達成のための具体的な方針

【学力の向上】

(1) 板橋区授業スタンダードの徹底

「めあて」「ふりかえり」「学習の流れの提示」

- ・アウトプットを重視した「めあて」、めあてを基にした「ふりかえり」
- ・児童と教師の「学習の流れ」を共有化
- ・「めあて」の週案への記載

(2) 読み解く力の育成（校内研究）

- ・読み解く力の6つの視点を入れた授業改革

「係り受け解析」「照応解決」「同義文判定」「イメージ同定」「推論」「具体例同定」

- ・読み解く力を下支えする力の育成

視写活動、考える音読、語彙、共書き、ノート指導、ワークシートの活用の削減 等

(3) 家庭学習の充実

- ・「家庭学習の手引き」の活用
- ・家庭学習ノートのネーミング
- ・学年×10分+10分

(4) 読書活動の推進

- ・読書活動推進計画の基づく読書活動
- ・読書の機会の拡大・充実
- ・図書館機能の充実

【学級経営の安定】

(1) 生活指導の五つの心得

- ①児童が在籍している間は、できる限り児童の側から離れない。
専科等で教室に児童がいないときは、原則教室で執務にあたる、専科の見送りや休み時間後に教室に戻るときは、校内を巡視しながら戻る。廊下に出ている児童がいたら声をかける等
- ②朝の学級の時間開始時刻、授業開始時刻には教室にいる。
- ③児童の問題行動への対応は複数の教員であたる。
- ④児童の問題行動への対応の指導の手順
 - 担任＋学年主任（または学年教員）
 - ＋生活指導主任や主幹（＋保護者）
 - ＋副校長＋保護者
 - ＋校長
- ⑤ 問題行動が、学年全体、低・中・高集団に影響を及ぼす可能性のあるときは、学年集会等を開き、学年全体で指導を行う。

(2) いじめの早期発見・早期対応

- ・hyper-QU の活用（2回）
- ・学校生活アンケート（3回）及びフローチャートに基づく聞き取り
- ・いじめに関する授業の実施（道徳授業地区公開講座）
- ・いじめの月例調査の実施（確実に記録に残す）
- ・学校いじめ防止対策委員会の実施
- ・「学校いじめ防止対策方針」の共通理解

(3) 不登校0へ向けた対応の充実

- ・hyper-QU の活用（2回）
- ・自己肯定感・自己成長感の醸成（キャリア・パスポートの活用を含む）
- ・不登校対応マニュアルに沿った対応の徹底
- ・保護者・関係機関等との連携

(4) 個に応じた指導

- ・授業のユニバーサルデザイン化
- ・特別支援学級との連携
- ・ステップアップ教室との連携
- ・学校生活支援シート、個別の支援計画に基づく、計画的・系統的な指導

4 「板橋学び支援プラン2021」の実現に向けて

【小中一貫教育】

- ・小1から中3までの各教科等の縦のカリキュラム・マネジメント（単元配列表）
- ・学級担任制から教科担任制への滑らかな移行
- ・学びのエリアにおける交流（児童生徒・教員・保護者）

【iCSの導入】（社会に開かれた教育活動）

- ・板橋区コミュニティス・スクール委員会との連携による学校の課題の解決
- ・学校支援地域本部との連携による教育活動の充実

【教職員の働き方改革】

- ・子どもと向き合う時間の確保
- ・働き甲斐改革（やらなくてはならないこと・やりたいことの選別、あった方がよい活動の見直し）
- ・ライフワークバランスの実現
- ・サービス事故0

5 基本方針達成のための環境条件整備

全教職員自身が志六小の子どもを育てる「教育環境」であるという考えに立つ。

○事務室は、教育課程の完全実施のための支援として

- ・学校予算の計画的な執行を実施する。
- ・私費会計の確実な処理を行う。
- ・消耗品の整備、保管と文書管理を適切に行う。
- ・施設整備、備品等の恒常的な点検と迅速な整備に努める。
- ・安全点検システムを構築する。
- ・E S Dの視点に立った学校実現へ向けて、具体策の計画・提案・実施・評価を行う。

○栄養士は、担任・養護教諭・給食室との連携において

- ・子どものために安全でおいしい給食を提供する。
- ・安全と衛生を徹底する。（特に食物アレルギーへの対応）
- ・各学年に応じた栄養指導を実施する。
- ・家庭と連携し、教育活動全体を通じた食育を推進する。

○用務主事室や受付は

- ・美しく快適な学習環境作りを推進する。
- ・情操を高める自然環境作りに協力する。
- ・来校者、来客への温かな接遇、案内に努める。
- ・子どもの安全を第一に考えた来校者の管理を行う。